

施策1	みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現	主管部長(課)	土木部長(管理課)
		関係部長(課)	土木部長(河川公園課、道路課、施設保全課)、土木技術担当部長、教育委員会事務局次長(学校施設課)

1 施策目標

江東区を目指す姿

豊かで親しみのある水辺と緑の空間が整備され、区民・事業者・区の連携により、うるおいあふれる魅力あるまち、みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」(以下、「CIG」という。)が実現しています。

施策実現に関する指標(代表指標)

指標名	単位	現状値 (6年度)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	目標値 (11年度)	指標担当課
水辺と緑に満足している区民の割合	%	72.7	72.8					80	管理課

※前期計画時の指標 元年度:74.4、2年度:70.8、3年度:74.1、4年度:75.0、5年度:71.9

指標選定理由		みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現に向けた区の取り組みに対する効果の客観的な指標であるため
分析	達成度	◆これまで区民・事業者・区が協働して実施してきた緑化施策により、水辺と緑に満足している区民の割合は70%を超えており、一定の評価を得ている。今後さらに魅力ある公園や散歩道の整備及び緑化を推進することでより高い水準を目指していく。
	4 (順調)	

施策コストの状況

種別	7年度予算	7年度決算(速報値)	8年度予算	9年度予算
トータルコスト	5,743,549千円	4,571,622千円	5,806,062千円	0,000千円
事業費	5,291,319千円	4,185,502千円	5,327,147千円	0,000千円
人件費	452,230千円	386,120千円	478,915千円	0,000千円

《参考》施策を取り巻く状況(社会状況/国・都の動向)

◆ 令和4年、世界目標として採択された「昆明・モントリオール生物多様性枠組」を受け、国は令和5年、新たに「生物多様性国家戦略2023－2030」を策定し、2030年ミッションを「ネイチャーポジティブ(自然再興)」とした。

◆ 都は「生物多様性国家戦略2023－2030」を受け、令和5年に「東京都生物多様性地域戦略」を改定し、多様な主体が連携・協働しながら取り組みを進めることで、ネイチャーポジティブの実現を目指すこととした。

◆ 都は令和5年に、100年先を見据えた新たな緑のプロジェクト「東京グリーンビズ」を始動し、令和6年に、東京の緑を3つの観点から新たに強化する施策を盛り込んだ「東京の緑の取組Ver. 2」を公表した。

2 施策目標の達成に向けた具体的な取組方針

取組方針1		みんなでつくる水辺と緑
主な取組		区民・事業者・区の連携によるCIGの実現
取組内容		◆緑化の推進にあたり、「江東区みどりの基本計画(後期)」に掲げる目標や事業目的・効果を区内外へ分かりやすく情報発信するとともに、区民・事業者と連携しながら、多様な主体が活動するみどりのまちづくりを推進する。 ◆区民・事業者・区等から構成される「江東区みどりの基本計画推進会議」により計画の進捗状況の評価・点検を行うとともに、評価結果に基づき、事業を見直すなど計画を着実に推進していく。
主な実施事業		CITY IN THE GREEN民間緑化推進事業、みどりのボランティア活動支援事業、みどりのまちなみづくり事業、みどりの基本計画進行管理事業
取組方針2		水辺と緑のネットワークの形成
主な取組		水辺と緑に親しめる散歩道の整備、誰もが安心して利用できる魅力ある公園づくり
取組内容		◆辰巳運河のうち、都の護岸耐震補強工事が完了した箇所について、緑の連続性やロケーションを活かした親水性のある潮風の散歩道の整備を行う。 ◆老朽化した南砂緑道公園では、「地域の基軸となる緑豊かな生活路」をテーマに、桜並木の更新や安全で快適な園路の整備を行う。
主な実施事業		水辺・潮風の散歩道整備事業、若洲公園整備事業、公園改修事業、児童遊園改修事業、南砂緑道公園改修事業
取組方針3		公共施設の緑化
主な取組		公共施設の緑化と緑の質の向上
取組内容		◆街路樹や公園及び水辺・潮風の散歩道などの樹木に対し、緑陰の確保や良好な景観が形成されるよう、適切な維持管理に取り組んでいる。 ◆学校施設等の改築・改修等に合わせて地上部・屋上・壁面緑化を着実に進めている。
主な実施事業		街路樹等維持管理事業、公園維持管理事業、CITY IN THE GREEN公共緑化推進事業
取組方針4		生物多様性の保全
主な取組		「江東区生物多様性地域戦略」に基づく自然共生社会の実現
取組内容		◆令和8年3月に策定した「江東区生物多様性地域戦略」に基づき、各種取組を推進する。 ◆ポケットエコスペースのデータベース化による適正管理や、生きもの探索イベントの実施など、生物多様性の保全と普及啓発に取り組む。 ◆戦略の進行管理については、区民・事業者・区等の多様な主体で構成する「江東区生物多様性地域戦略推進会議」を設置し、各取り組みの目標値に対する評価・点検を行う。
主な実施事業		生物多様性地域戦略推進事業

3 取組方針の実施状況

取組方針1		みんなでつくる水辺と緑		主管部長(課)		土木部長(管理課)							
				関係部長(課)		土木部長(河川公園課、施設保全課)、土木技術担当部長							
・「CIG」の実現に向けた取り組みやその成果を江東区内外に発信するとともに、区民や事業者と連携しながら、多様な主体による水辺と緑のまちづくりを推進します。 ・ボランティア活動やイベント開催などにより、より多くの区民が水辺と緑に関する活動に参加できる環境づくりを進めます。													
指標													
指標名				単位	現状値 (5年度)	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	目標値 (11年度)	指標担当課
区民・事業者による新たな緑化面積				m ²	91,048	104,030	19,300					－	管理課
＊前期計画時の指標 元年度:52,599、2年度:50,068、3年度:37,235、4年度:62,315													
指標選定理由		区民・事業者への緑化指導の成果を示す指標であるため											
分析	達成度	◆250㎡以上の敷地で建築を行う際には、「江東区みどりの条例」に基づく緑化指導を実施している。地上部・建築物上・接道部にそれぞれ緑化基準を設け、緑化面積を確保している。7年度は、傾向として臨海部等における規模の大きい建築行為が少なかったこと等から、指標値は前年度比減となっている。民間開発等の動向により、緑化面積は年ごとに変動があるものの、緑化指導により、着実な緑化の推進を行っている。											
	－												
指標													
指標名				単位	現状値 (6年度)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	目標値 (11年度)	指標担当課	
水辺と緑に関する活動に取り組んでいる区民の割合 ＊後期計画からの指標				%	30.6	25.5					50	管理課	
指標選定理由		水辺と緑の整備とふれあいの機会提供に関する区の取り組みに対する効果を示す指標であるため											
分析	達成度	◆前年度に比べて5.1ポイントの減であった。高齢者世代は水辺と緑に関する活動に取り組んでいる割合が高い一方で、その他の世代においては低い傾向にある。											
	*												
取組コストの状況													
種別		7年度予算		7年度決算(速報値)		8年度予算		9年度予算					
トータルコスト		187,911千円		162,354千円		187,911千円		0,000千円					
事業費		107,290千円		93,606千円		107,290千円		0,000千円					
人件費		80,621千円		68,748千円		80,621千円		0,000千円					
成果と課題													
◆「江東区みどりの基本計画推進会議」により「江東区みどりの基本計画(後期)」の着実な進捗管理を行った。各種取り組みは適切に実施されており、計画全体として概ね順調に進捗している。													
◆「江東区みどりの基本計画(後期)」に基づき、多様な主体によるみどりの活動をさらに推進するため、みどりの課題に対する調査、検討、意見交換などを行う「グリーンコミュニティ会議」を実施した。引き続き、「江東区みどりの基本計画推進会議」と連携しつつ、CIG施策を着実に進めていく。													
◆緑化指導では、引き続き、民間事業者による緑化の着実な推進を図っていくとともに、緑視率の向上やみどりによるまちなみの形成に寄与する接道部の緑化についても働きかけていく。													
◆高齢者世代に限らずその他の世代においても水辺と緑に関する活動へ参加してもらうため、SNS等を一層活用し、区民や事業者の取り組みの紹介やイベント情報の積極的な発信を行うとともに、江東区みどり百景・スタンプラリー等の新たな取り組みにより、みどりへの関心を高め、水辺と緑に関する活動に取り組む区民の増加を図る。													

取組方針2	水辺と緑のネットワークの形成	主管部長(課)	土木部長(河川公園課)								
		関係部長(課)	土木部長(施設保全課)、土木技術担当部長								
・地域の特性や区民のニーズを反映しながら、道路及び公園の緑の保全や身近な水辺と緑を感じる空間づくりを進めます。 ・水辺と緑の連続性を活かしたまちづくりに向けて、水辺・潮風の散歩道の整備等を進め、水辺と緑に親しめる環境づくりを推進します。											
指標											
指標名		単位	現状値 (5年度)	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	目標値 (11年度)	指標担当課
水辺・潮風の散歩道整備率		%	61.17	61.62	63.34					65.11	河川公園課
* 前期計画時の指標 元年度:57.61、2年度:59.77、3年度:59.77、4年度:59.77											
指標選定理由		水辺を活かしたみどりのネットワークづくりに向けた区の取り組みに対する効果を示す指標であるため									
分析	達成度	◆辰巳運河の潮風の散歩道を新たに開放したため、整備率が向上した。									
	4 (順調)										
指標											
指標名		単位	現状値 (5年度)	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	目標値 (11年度)	指標担当課
公園面積		ha	515.1	578.7	609.1					550	河川公園課
* 前期計画時の指標 元年度:438.1、2年度:509.0、3年度:508.1、4年度:508.1											
指標選定理由		水辺と緑に親しめる環境整備に向けた区の取り組みに対する効果を示す指標であるため									
分析	達成度	◆荒川・砂町水辺公園を一部拡張整備した。あわせて、東京都により、都立公園である亀戸中央公園、春海橋公園及び有明親水海浜公園も拡張整備されたことに伴い、前年度に比べ公園面積が増加となった。									
	5 (達成)										
指標											
指標名		単位	現状値 (6年度)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	目標値 (11年度)	指標担当課	
江東区では水辺や緑に親しむ機会があると回答した区民の割合		%	66.1	65.2					70	河川公園課	
* 後期計画からの指標											
指標選定理由		水辺と緑の整備の取り組みによる区民への効果を示す指標であるため									
分析	達成度	◆水辺や緑に親しむ機会があると回答した区民の割合は60%を超えており、一定の水準にある。引き続き、公園や散歩道の整備等により、水辺や緑に親しむ機会の充実を図り、区民が水辺や緑に親しめる環境づくりを推進していく。									
	*										
取組コストの状況											
種別	7年度予算	7年度決算(速報値)		8年度予算		9年度予算					
トータルコスト	2,536,750千円	1,903,798千円		2,404,735千円		0,000千円					
事業費	2,410,589千円	1,796,366千円		2,269,489千円		0,000千円					
人件費	126,161千円	107,432千円		135,246千円		0,000千円					
成果と課題											
◆水辺・潮風の散歩道は、耐震護岸工事など条件が整った区間から順次整備する必要がある、引き続き状況を注視しながら着実に水辺と緑のネットワークづくりを進めていく。											
◆若洲公園整備事業は、公募設置管理制度(Park-PFI)を活用し、令和9年のリニューアルオープンに向け、事業を着実に進める。											

取組方針3	公共施設の緑化	主管部長(課)		土木部長(管理課)							
		関係部長(課)		土木部長(道路課、河川公園課、施設保全課)、土木技術担当部長、教育委員会事務局次長(学校施設課)							
・道路や公園、河川、運河の他、教育施設等の改築・改修等に合わせた屋上緑化や壁面緑化等を進め、公共施設の緑化を推進します。 ・緑陰の確保や魅力ある良好な景観を形成するため、街路樹、水辺・潮風の散歩道及び区立公園・児童遊園の適切な維持管理を推進します。											
指標											
指標名			単位	現状値 (6年度)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	目標値 (11年度)	指標担当課
公共施設の緑化済み面積割合 *後期計画からの指標			%	29.5	29.5					31.5	管理課
指標選定理由			みどり豊かなまちなみづくりに向けた区の取り組みに対する効果を示す指標であるため								
分析	達成度	◆学校施設等の新增築・改築工事を実施する際に地上部・屋上・壁面緑化を実施している。									
	4 (順調)	◆7年度は対象となる公共施設の改築等がなかったため、指標値は前年度から増減なしとなった。引き続き、改築等の機会を捉え、公共施設の緑化を推進していく。									
取組コストの状況											
種別		7年度予算	7年度決算(速報値)		8年度予算		9年度予算				
トータルコスト		2,997,322千円	2,482,151千円		3,184,368千円		0,000千円				
事業費		2,762,657千円	2,281,393千円		2,932,880千円		0,000千円				
人件費		234,665千円	200,758千円		251,488千円		0,000千円				
成果と課題											
◆特に大きな面積を有する学校施設等については改築・改修等に併せて、地上部・屋上・壁面緑化を積極的に進めている。 ◆樹木によってできる日陰の確保や魅力ある良好な景観を形成するため、街路樹、水辺・潮風の散歩道及び区立公園・児童遊園の樹木について、適切な維持管理を行うことが必要であり、引き続き取り組みを進めていく。 ◆みどり豊かなまちなみづくりに向けて、緑化の先導役としての役割を果たす必要があり、引き続き道路や公園、河川を含む公共施設の緑化を進める。											

取組方針4	生物多様性の保全	主管部長(課)		土木部長(管理課)						
		関係部長(課)		土木技術担当部長						
・水辺や緑地等の整備によりエコロジカルネットワークを形成し、生物の生息空間の確保を図ります。 ・生物多様性に対する区民や事業者の理解を醸成するため、生物及びその生育環境に関する情報を発信し、生物多様性の重要性について普及啓発を推進します。										
指標										
指標名		単位	現状値 (6年度)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	目標値 (11年度)	指標担当課
生物多様性の内容を知っている区民の割合 *後期計画からの指標		%	39.8	40.9					70	管理課
指標選定理由		生物多様性に対する区の普及啓発や生息空間確保の取り組みの効果を示す指標であるため								
分析	達成度	◆生物多様性の内容を知っている区民の割合は40%付近で推移している。								
	3 (概ね順調)	◆「江東区生物多様性地域戦略」の策定過程において、イベント等による普及啓発活動を実施した。								
取組コストの状況										
種別		7年度予算	7年度決算(速報値)	8年度予算		9年度予算				
トータルコスト		25,009千円	23,319千円	29,048千円		0,000千円				
事業費		14,226千円	14,137千円	17,488千円		0,000千円				
人件費		10,783千円	9,182千円	11,560千円		0,000千円				
成果と課題										
◆令和8年3月に策定した「江東区生物多様性地域戦略」に基づき、2050年の自然共生社会の実現に向け、生物の生息空間の保全を図るとともに、情報発信および普及啓発を一層推進していく。 ◆区民・事業者・区等で構成する「江東区生物多様性地域戦略推進会議」において、取り組みの評価・点検を行い、その結果を踏まえた事業の見直しを図るなど、計画を着実に推進していく。										

4 一次評価《主管部長による評価》

総評	◆本施策は、水辺と緑の整備やネットワーク形成により区民満足度が高水準で推移しており、全体として概ね順調に進捗している。一方で、みどりに関する活動参加率や生物多様性の認知度は目標を下回り、区民の主体的関与の拡大が課題である。そのため情報発信やイベントの充実により、みどりに関する活動への参加を促進するとともに、生物多様性についての普及啓発の充実を図っていく必要がある。
今後の方向性	◆「江東区みどりの基本計画(後期)」に基づき、民有地・公有地の緑化を推進するとともに、官民連携の場として設置したグリーンコミュニティ会議の活用や情報発信等の充実により、みどりを介したコミュニティの形成を図るとともに区民が参画したみどりのまちづくりを進めていく。 ◆公園や水辺・潮風の散歩道の整備を着実に進め、水辺と緑のネットワーク化を推進していく。また、公園の整備運営にあたっては、地域特性や区民ニーズを反映するため、現在策定中の公園マスタープランにおいて整備方針及び管理運営方針を示し、魅力ある公園づくりを推進していく。 ◆「江東区生物多様性地域戦略」の策定を契機に、生物多様性の保全・回復に向けた取り組みを進めるとともに、普及啓発や教育を進めていく。